

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ①学校づくりビジョンや学校評価、子どもたちの様子等に関して協議し、「地域とともにある学校」の推進を図ります。
- ②子どもたちの将来に生きる力を育むために、学習支援、体験学習、地域学習、読書活動、クラブ活動において、地域の教育力を活用し、「開かれた学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

日頃から、保護者や地域の方から、さまざまなご支援・ご協力をいただき、教育活動を行っています。その地域学習・体験学習などを通して、子どもたちに将来に生きる力を育んでいます。地域に出かけて学ぶ学習・地域の方を学校に招いての学習をすべての学年が年間を通じて、行っています。

10月の土曜授業で、地域連携授業として、それぞれの学年が地域や地域の方と触れ合う授業を行いました。

1年生は、「I LOVE 地元」の方5名に来ていただき、体育館で新聞紙などを使ったレクリエーションを楽しみました。予定では、中庭でのつる縄遊びと焼き芋でしたが、あいにくの雨のため、ふかし芋を作っていただき、来ていただいた方たちと一緒に教室で出来上がった芋をおいしく食べることができました。

2年生は図書館司書さんと図書支援員さんにお越しいただき、しおり作りと読みきかせを行いました。子どもたちが本への興味をもてるように、本のカバーの図柄を使って、自分だけのしおりを作りました。2つ目のしおりを作った子もいました。できたしおりは学校や家での読書に使っています。そのあと、図書支援員さんに絵本の読み聞かせをしていただきました。子どもたちはとても熱心に聞き入っていました。

3年生は、運営協議会委員長の藤谷さんを講師として招きました。最初に、下野郷土資料館へ行き、昔の道具を見学しました。見たこともない道具の数々に驚きながら、熱心に質問する姿が見られました。その後、実際の石臼できな



粉づくりの体験をしました。藤谷さんには、石臼や大豆の準備もお世話になりました。全員が石臼を引く体験をさせていただき、後日、出来上がったきな粉をおいしくいただくことができました。

4年生は、「下野・活き域ネット」の方々7名に来ていただき、下野地区で作られている竹炭の作り方などの説明を聞いた後、竹炭を使ったペン立てや写真立てづくりを行いました。活き域ネットの方々に教えていただきながら、子どもたちは思い思いの作品を作り上げることができました。

5年生は、下田さん他2名に来ていただき、わら飾りづくりを体験させていただきました。横づちで、わらを打つところから始まり、難しいながらも、それぞれがわら飾りを作り上げることができました。うまくできなくて困っている子には、できた子が手伝うなど協力して作品を作っていました。

6年生は、よっかいち諧朋苑の職員の方2名に来ていただき、介護の仕事について、その仕事から感じてみえること、この職業についたきっかけなど、具体的にわかりやすくお話していただきました。また、片手が麻痺している方に、上着を着せてあげるには、どう支援したらいいかの実演を通して、相手を思いやることの大切さも教えていただきました。

この他にも、クラブ活動の支援として、卓球クラブ・英語クラブに支援をいただいています。また、PTA役員や地域の老人会「楽寿会」の方々のご協力で、下野小の伝統行事「ふれあい餅つき大会」が行われました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ① これまでに引き続き、学習活動や体験活動への支援、クラブ活動の支援などの取り組みが行われました。運営協議会では、その活動の状況を委員のみなさんに知っていただき、これらの活動が継続し、より充実したものになるようにご意見をいただきました。その中で、図書のボランティアの方が少ないということで、学校だよりなどの呼びかけを行うことになりました。その結果、今年度、2名の加入がありました。
- ② 委員のみなさんには、教育活動の様々な取り組みや普段の授業や子どもたちの様子を参観していただき、学校の状況をより具体的に知っていただくことができました。子どもたちが落ち着いて授業を受けている姿を見ていただき、子どもたちの成長の様子を評価していただきました。
- ③ 積極的に活動に参加を呼びかけていただくなどしたおかげで、新たに学習支援に加わっていただくことができました。委員として、地域の方々とのパイプ役になっていただき、行事「ふれあい餅つき大会」をスムーズに進行することができました。

3 今後に向けて

四日市版コミュニティースクールの2年目でしたが、今年度も、保護者や地域の方とのつながりは深く、さまざまな活動にご支援・ご協力をいただくことができました。今後も引き続き、子どもたちがより充実した学校生活を送れるように、取り組みを進めていきたいと思えます。

学校運営協議会で、地域の方の子どもたちへの支援が子どもたちのためだけでなく、来ていただく地域の方へ元気を与えていることがあるということを教えていただきました。このように、「地域とともにある学校」として、地域の特色や教育力を可能な限り活用し、子どもたちの将来に生きる力を育んでいきたいと思えます。

別紙B

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立下野小学校

委員長 藤谷 克彦

校長 坂本 豊治

| 月 | 協議会の開催 | 活 動 内 容 |
|----|-------------------|---|
| 4 | | |
| 5 | 第1回運営協議会 (16日) | <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・委員委嘱 ・コミュニティスクールについて ・学校づくりビジョン説明と承認 ・年間活動計画 ・意見交換（児童の様子等） ○27日 運動会参観 |
| 6 | | |
| 7 | 第2回運営委員会 (12日) | <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観（水泳他） ・1学期の取り組みについて ・地域連携授業について ・意見交換（児童の様子等） ・コミュニティスクール運営協議会委員研修会の報告 |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | ○28日 土曜授業（地域連携授業） |
| 11 | 第3回運営委員会 (16日) | ○22日 1年昔遊びを教わる会 <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観・校内図工科展鑑賞 ・2学期の取り組みについて ・意見交換（児童の様子等） |
| 12 | | |
| 1 | 第4回運営委員会 (30日) | ○13日ふれあい餅つき大会 <ul style="list-style-type: none"> ・下野こどもまつり参観 ・3学期の取り組みについて ・意見交換（児童の様子等） |
| 2 | 第5回運営委員会 (15日) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の現状について ・学校関係者評価 ・今年度の活動報告・承認 |
| 3 | | |